



Special
Olympics
Nippon
Osaka

スペシャルオリンピックス日本・大阪ニュースレター

いちにのさん

Vol.64 2022.8/20

発行：認定特定非営利活動法人スペシャルオリンピックス日本・大阪 発行人：村上智則
〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町11-5 ロータリーコーポ東高津303 TEL:06-7171-7457

2022年スペシャルオリンピックス日本・近畿ブロック卓球競技会 開催!!

2022年スペシャルオリンピックス 日本・近畿ブロック卓球競技会

主催：特設法人スペシャルオリンピックス日本・大阪 共催：枚方市スポーツ協会・アシックススポーツファシリティーズ共同事業体
後援：枚方市・枚方市教育委員会・枚方市社会福祉協議会・公益財団法人スペシャルオリンピックス日本 協力：枚方市保健課



近畿ブロック卓球競技会を終えて

理事長 村上 智則

今回の競技会の開催にあたっては、コロナ禍で多くの活動が制限を受けるなか、アスリートの「他の地区の人とも試合がしたい」「アスリートの仲間と話し合う機会が欲しい」という思いがきっかけとなりました。一人の願いが多くの人々に広がり素晴らしい舞台が実現したことを心からうれしく思っています。アスリートの皆さんがボールを打ち合う姿とその音に心がワクワクしました。また、強い相手との対戦でも最後まであきらめずボールを追いかけている姿に、心が熱くなりました。競技役員の方とのユニファイド形式のダブルスでは楽しさはもちろん、アスリートの力がどんどん引き出されていく様子を見て、今後の活動への期待が大きくなりました。競技役員から、ディビジョニングの仕組みについて高い評価をいただいたこともうれしい出来事でした。開閉会式をはじめ、アスリート委員会の活躍も頼もしく感じました。ボランティアやファミリーも含め、参加するすべての人の「今できる精一杯」が詰まった競技会となりました。改めて、みんなが集い勇気や感動を分かち合うことの大切さを感じることでできた一日でした。

最後になりましたが、本競技会の開催にあたり、ご協力をいただいた枚方市スポーツ協会・アシックススポーツファシリティーズ共同事業体および枚方市卓球連盟の皆様をはじめ、すべての方々の温かいご支援に、心より厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。



近畿ブロック卓球競技会について

競技会競技部長 浦本 朋視

5月29日、枚方総合スポーツセンターにてスペシャルオリンピックス日本・近畿ブロック卓球競技会を実施しました。

アスリートから「卓球競技会を大阪で実施したい」という要望をスタートに、ファミリーをはじめ様々なノウハウがない中で、大会に向けて手探りで準備を進めました。

今年は2月からまん延防止等重点措置のため、プログラムの開催できず、また準備もままならない中で、兵庫と京都、また大阪からは、大阪工業大学プログラムのアスリートを含めて28名のアスリート、9名のコーチが参加しました。

種目は、シングルス、ダブルス、団体戦と健常者とペアを組むユニファイドレクリエーションダブルスを実施しました。

現行のアスリートやコーチとしては、初めて主催しての競技会で、不安もありましたが、アスリートは楽しく卓球をすることができたと感じました。試合が終了後、時間が空いた時には、他地区のアスリート同士がダブルスを組んで練習するなど、自主的に交流を図っていました。

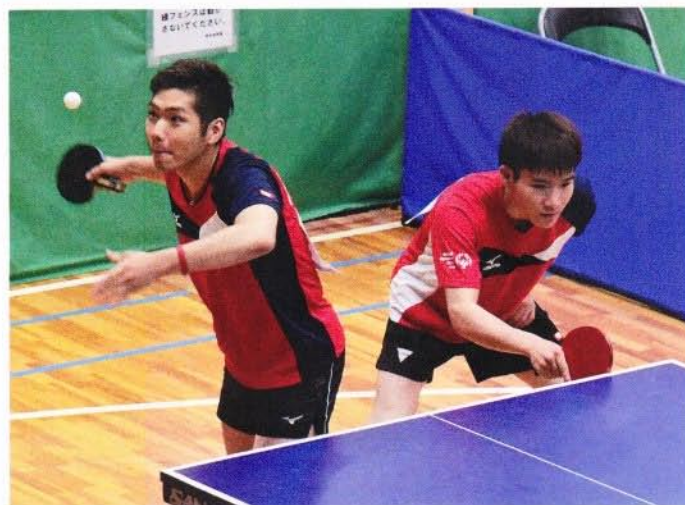
また、ユニファイドダブルスは、審判として来られていた卓球上級者の枚方卓球連盟の方とペアを組んで、ラリーや試合形式のゲームを実施しました。私自身、これを実施することで、一般のボランティアの方が多く参加されて、スペシャルオリンピックスの存在や、障がいのあるアスリートを知ってもらう機会を持ちたいと考えていたので、ユニファイドダブルスは、大変有意義な時間であったと思っています。

このような競技会を、今後も継続して、より楽しめる大会を目指していきたいと思っております。最後に、参加されたアスリート、ファミリーの皆様をはじめ、ご後援いただきました

枚方市、枚方市教育委員会、枚方市社会福祉協議会、また、多大な協力をいただきました枚方市卓球連盟の皆様、ボランティアの皆様にお礼を申し上げます。ありがとうございました。

枚方市卓球連盟の皆様からの感想

- ・アスリートのみなさんの明るく楽しい笑顔に癒され、逆にパワーを頂き感謝です。
- ・運営スタッフの優しさと思いやりには頭の下がる思いで、感謝・感激&貴重な体験をさせて頂きました。今後より一層スペシャルオリンピックスのご成長並びにご活躍を、心からお祈り申し上げます。
- ・みなさん、卓球が好きなんやなーと感じました。その気持ちがあるからこそ、トラブルがたとえあっても、気持ちでゴールしますよ。いろんな条件が悪いことあっても、一生懸命取り組んでる姿に、僕も負けておれん。ますます底辺をしっかりと、身体許す限り、やる気です。
- ・アスリートのみんが試合に集中出来て、楽しく出来ていたので、良かったと思います。我々は、彼らが最高のパフォーマンスができるようにする裏方ですから、多少の不具合は覚悟の上です。主催される方の苦労は大変でしたね、頭が下がります。ゆっくり休んでください。
- ・私達も初めての経験なんで至らなくてすみませんでした、皆少しずつ慣れてきてアスリートと私達のユニファイドダブルスも楽しく出来ました、いろいろお世話になりました。
- ・幼かったアスリートとダブルス対戦が1回出来ました。1-1でした。ダブルスのペアを組んだアスリートも喜んでいました。旧知のアスリートが素敵な青年に成長していて嬉しいです。



枚方市卓球連盟 会長 吉村敏治

まず一番に驚いたことは開会式にて司会をアスリートがしている事でした。確かに色々なレベルの方が参加されている中でやれそうな方がしているとは言え積極性があるのですね。そして、選手の素直さにも驚きました。

運営面では、事前打ち合わせの時間があれば、当日もう少し余裕があったかと感じました。かなり余裕を持ったタイムテーブルの運営だったので良かったです。全体的には成功だと感じます。お世話されている方々にも大会だけでなく、日頃からのお世話が本当に大変なご苦労だと心から感服しました。



ファミリー 高橋 真子

卓球競技会で久しぶりに大勢の仲間たちと一緒に活動できた事をとても嬉しく感じました。

娘は今回初めてのユニファイドダブルスに参加させていただきルールを理解するのは難しいですが、皆さんのサポートがあり楽しそうにプレイしていました。とても良い経験が出来たと思います。ありがとうございました。

ファミリーの感想

様々ありましたが、無事にケガも事故も無く、アスリートの皆さんが笑顔で終わることが出来て嬉しかったです。ドキドキハートで参加したうちの子も終わってみると「楽しかった」「また挑戦したい」って言ってます。反省点や問題点や良かったところを活かして次に繋げていきたいです。ありがとうございました。



SON・大阪 ヘッドコーチ 森永 英二

大阪からは12名のアスリートが参加しました。開会式後、ダブルス決勝が行われ、最初は緊張もあって2人の息が合わないこともありましたが、2セット目以降になると本来の実力を発揮して素晴らしいゲームを見せてくれました。続いてのシングルス予選は1セット5分マッチで出場者全員が7つのディビジョンに分かれて行われ、緊張感のあるゲームが展開されました。

昼食を挟んで午後からのシングルス決勝は、予選の結果を見てディビジョンを決定し、11点3セットマッチで行われました。予選で全勝したアスリートがディビジョニングで1ランク上がり、それまでの相手とのレベル差に戸惑って実力が発揮できないという場面もありましたが、最後まで諦めずに1点でも

2022年スペシャルオリンピックス日本・近畿ブロック 卓球競技会



運営委員 アスリート 山本 詩織

昨日はアスリート委員でしゃべれて楽しかったです。また今後も何か手伝えることがあれば参加したいです。

運営委員 アスリート 福島 誠一朗

アスリート委員として最後に少し長く感じたけど、一こと言えて嬉しかったです。声、ことばちゃんと言えてましたか？聞こえたかな？と不安もあったけど、誰も、笑わなかったので、ホットしました。

アスリートとしては、初めてシングルでメダルが貰えて嬉しかったです。それと、知らない方、初めて会う方とダブルスを組んで、試合ができたこと、とても楽しかったです。ユニファイドダブルスという種目ももっと、たくさんできたら、試合に勝っても、負けても、とても楽しいなと思いました。



返そうと全力で戦う姿勢はとても立派でした。

あるアスリートは、前日からドキドキしていたようですが、ゲームが進むに従って緊張が取れ、終わった後は楽しかった、また挑戦したいという意欲が湧いてきたようです。

最後に行われた団体戦は、大阪からはA、Bの2チーム計8名が参加しました。シングルスでゲームにも慣れてきたようで、みんなとても集中して白熱したいいゲーム展開でした。

この大会で勝利して笑顔が弾けたアスリートも、負けて悔し涙を流したアスリートも、本当にいい経験だったと思います。私自身もアスリートから元気ももらい、これからも頑張ろうという気力が湧いてきました。

運営委員 アスリート 西 麻梨子

5月26日(日)に卓球競技会に行って司会をしました。卓球プログラムに参加しているアスリートがめっちゃくちゃ上手なことがびっくりしたことです。すごくらりーになっていたの、びっくりしました。

私も、ユニファイドで卓球の体験ができたのでめちゃくちゃびっくりしました。

運営委員 アスリート 田井 秀析

卓球競技会で初めてアスリート委員会のお手伝いをしました。楽しかったです。消毒作業や得点係、司会進行のお手伝いもしました。初めて体験することばかりでうまくできませんでしたが、次はうまく出来るようにがんばります。卓球競技会ではアスリートの皆さんがとても上手でがんばっている姿に感動しました、私もがんばろうと思いました。



運営委員 アスリート 浅野 なつみ

今回、卓球競技会のお手伝いをさせてもらい、とても楽しかったです。私は卓球プログラムに参加していないので、卓球のアスリートはあまり知りませんでした。いつもは会えないアスリートと会うことができ、良かったです。みんな頑張っていて、かっこいいなと思いました。

私は、開会式、表彰式、閉会式の司会をしました。練習では、うまく言えなかったけど、本番では上手に言えて良かったです。私が参加しているプログラムでも、こんな大会ができたらいいなと思いました。

